

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2024年5月22日
明治大学の所属学部・研究科 ※学部・学科・研究科・専攻等	経営学部経営学科
留学(渡航)した時の学年	3年生
帰国年月日	2024年5月19日
明治大学卒業予定年月	2025年3月
留学先大学について	
留学先国	アメリカ合衆国
留学先大学	カリフォルニア州立大学ロングビーチ校(日本語名) California State University Long Beach(現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	英語/英語
留学期間	2023年8月～2024年5月
留学先大学で在籍した学年	年生
留学先の所属学部等	<input type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名 日本語名: 現地言語での名称: <input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している <input type="checkbox"/> その他:
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他:
学年暦 ※記入例: 1 学期: 4 月上旬～7 月下旬 2 学期: 9 月中旬～2 月上旬	1 学期: 8 月下旬～12 月上旬 2 学期: 1 月下旬～ 5 月上旬 3 学期: ～ 4 学期: ～
学生数	32,711(2022)
創立年	1949

留学費用

留学費用項目	現地通貨 (US\$)	日本円	備考
授業料	0	0円	交換型のため
宿舍費	9,760	1,512,800円	
食費	9,704	1,504,120円	210 block plan
図書費		円	
学用品費		円	ノート等購入したがレシートがなく不明
携帯・インターネット費	166.4	25,792円	イエローモバイルを利用(日本で契約)
現地交通費		円	(<input checked="" type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費		円	
被服費		円	
医療費	0	0円	日本より最低限の医薬品は持参
保険費	2,272	352,171円	形態: 明治:102,635+CSULB:1,609.91
渡航旅費	1,188	184,254円	行き: ¥92,484+帰り: \$611.80
ビザ申請費	364	56,500円	ビザ申請費(¥22,400)+SEVIS Fee(\$220)
雑費		円	
その他		円	
その他		円	
合計	23,454	3,635,637円	US \$1=¥155 で計算

渡航関連

渡航経路	
往路 出発地:東京(成田) 目的地:ロサンゼルス国際(LAX) 経由地:	
復路 出発地:ロサンゼルス国際(LAX) 目的地:東京(羽田) 経由地:シアトルタコマ国際	
渡航費用	
① 往復チケットを購入した場合 航空会社:	
料金:	
② 片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社:ZIPAIR 料金:¥ 92,484	
復路 航空会社:Delta 料金:\$ 611.80	∴合計:¥ 187,313(1\$=¥155で換算)
航空券購入方法	
<input type="checkbox"/> 旅行代理店(店名:)	
<input type="checkbox"/> インターネット(サイト名:)	
<input checked="" type="checkbox"/> その他(Google Flight 経由、航空会社サイトより購入)	
滞在形態関連	
1) 種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舍等)	
<input checked="" type="checkbox"/> 学生寮(寮の名前:Hillside Village)	<input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ
2) 部屋の形態	
<input type="checkbox"/> 個室	<input checked="" type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 1)
3) 共有部分	
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input checked="" type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)	
4) 住居を探した方法:	
大学からのメールに従い、大学のポータルサイトから申し込んだ。	
5) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)	
現地の学生との交流を希望するなら、International House ではなく Hillside 等の一般のビルディングへアプライすることを強くお勧めします。	

現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。

(例: 現地の病院、学内の診療所)

なし

あり (治療を受けた場所:)

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

なし

あり (問題の内容や相談した人等:)

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

外務省の情報やインターネットを通じたニュース等で情報を収集した。友人からの情報を参考にしたこともある。

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWiFi接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

寮のインターネットは普段はストレスなく使用できるが、時々調子の悪い時があった。

また、就活を現地で行う場合にはWebテストを受験するためのネットワーク要件を満たすことができない事があります。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか?

(例: 現地に銀行口座を開けて日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

現地で銀行口座を開けし、日本の自身の銀行口座より送金していた。

6) 現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えてください。

特になし

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。

(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1) 留学先で取得した単位数合計		本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
24単位		<input checked="" type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2) 履修登録の時期・方法及び履修制限		
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他() <input checked="" type="checkbox"/> 履修の制限があった:prerequisite を満たしているかの審査があった		
3) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4用紙で別途作成し、添付してください。		
履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Principles of Marketing		
科目設置学部・研究科	College of Business	
履修期間	2023 Fall	
単位数	3	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義形式 (チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1週間に75分が2回	
担当教授	Max Alberhasky	
授業内容	マーケティングの基本的な点について、実例を用いて幅広く学習する。	
試験・課題等	対面試験と週に1度のオンラインのクイズ。課題はない。	
感想を自由記入	若い先生だったため流行の話題も取り入れながら、マーケティングがどのように現実社会で用いられているかを解説してくれた。スライドも画像を多用して、興味関心をそそられる授業だった。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
International Business		
科目設置学部・研究科	College of Business	
履修期間	2023 Fall	
単位数	3	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1週間に165分が1回	
担当教授	William Hernández Requejo	
授業内容	貿易などの国際的な取引に関するビジネスを取り巻く環境について学ぶ	
試験・課題等	3回のクイズと3回の試験、すべてオンラインで行われる。	
感想を自由記入	週に1度の授業だったので約3時間の授業であった。試験は授業内容を理解さえしていれば解けるためさほど難しいとは言えない。また、教科書の付属ツールでクイズを出してくれるのでそれを利用するとよい対策になった。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Global Citizenship	
科目設置学部・研究科	College of Liberal Arts
履修期間	2023 Fall
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義&ディスカッション (チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に75分が2回
担当教授	Graham Odell
授業内容	国際的な問題について考えるために必要な知識と、クリティカルシンキングの技能を身に付ける
試験・課題等	セクションごとのクイズとレポートの提出、perusal というソフトを用いて資料に学生全員がコメントし議論する課題があった。
感想を自由記入	授業は講義とディスカッションを混ぜた構成であった。留学生が多く、日本人の留学生も複数人いた。教授が優しかったので、いろいろ質問することができた。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Problems in International Social Conflict	
科目設置学部・研究科	College of Liberal Arts
履修期間	2023 Fall
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義&ディスカッション(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に75分が2回
担当教授	Yousef K. Baker
授業内容	奴隷制や農奴の歴史から近現代に続く格差の歴史について学ぶ
試験・課題等	短答式と選択式の問題のテストがあった。
感想を自由記入	内容は非常に難しいが、西洋社会に根づく奴隷制や共産主義のなりたちも含め格差がなぜ起こるのかを構造的な視点から学ぶことができ新たな視点を身に付けることができたと感じている。日本では発見できない視点を多く得ることができたと思う。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Organizational Behavior	
科目設置学部・研究科	College of Business
履修期間	2024 Spring
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に165分が1回
担当教授	Jonathan Phan
授業内容	組織行動論とチームマネジメントにおいてマネジャーに必要な知識を心理学的知見を用いて学ぶ
試験・課題等	学期に期末含め3回の試験があった。ただし、全範囲ではなく試験直前までの範囲のみ。また、学期後半には Personal Improvement Project(PIP)と呼ばれる毎週提出の1ページほどのレポートが課題として出され、個人的な目標に対して授業内で扱った理論を用いて効果的に目標の達成を行うためのアプローチを実践するという興味深い課題があった。
感想を自由記入	授業中には、電子機器の利用が禁止されており当初は厳しい教授であるという印象があったが、すべてに根拠がありそれらを丁寧に説明してくれるため納得感をもって授業を受けることができた。約3時間に及ぶ授業であるが、途中に適宜休憩を挟む上に話が非常に面白いため全く退屈することのない授業である。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Business Data Networks & Comm	
科目設置学部・研究科	College of Business
履修期間	2024 Spring
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に75分が2回
担当教授	Deepti Singh
授業内容	インターネットをはじめとするネットワークの仕組みやその管理、セキュリティなどについて学ぶ。
試験・課題等	中間と期末の試験に加えほぼ毎週オンラインでの小テストがあった。課題は、企業にネットワークの整備のプランを提案するレポート課題と仮想PCに接続して実際にソフトウェアを動かしながらネットワークのコンフィギュレーションを行ったり、ログ管理を行ったりする教材を用いた課題があった。
感想を自由記入	日本では情報系の学部でありそうな授業であったが、ビジネス学部設置されている授業という事もあり、最初はビジネス視点での簡単な内容を扱った上で、後半には技術的な知識をかなり本格的に学ぶことができ非常に満足度の高い授業であった。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Principles of Management & Operation	
科目設置学部・研究科	College of Business
履修期間	2024 Spring
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に75分が2回
担当教授	Maryam Ribadu Jenkins
授業内容	マネージメントやオペレーションに関する知識を広範に扱う。
試験・課題等	試験は全4回の小テストと中間と期末試験の2つだった(全6回)また、学期初めにグループに分けられ、チャプターを指定されてそのチャプターについてのプレゼンテーションをするという課題があった。
感想を自由記入	授業では内容をサラッとしか扱わない上に、教科書を学期で2冊使用するためかなりの自習時間を要求される。同じ授業でも教授によって難易度にかかなりの差があるようで、この教授は難易度が高めであると思われる。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
International Business Policy	
科目設置学部・研究科	College of Business
履修期間	2024 Spring
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	ディスカッション中心の講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に75分が2回
担当教授	Nataliya Acc-Nikmehr
授業内容	企業の戦略立案等に関して教科書の知識を前提に現在の世界情勢を共有しながらディスカッションを行う。
試験・課題等	4チャプターごとの試験3回と全チャプターをカバーする期末試験1回 X-Culture Project という世界中の学生とバーチャルグループで企業に戦略提案をするプロジェクトに参加することが課される。その他にも、プレゼンテーションやレポートの課題があった。
感想を自由記入	400番台の授業という事もあり決して内容は簡単ではなかったものの、現地生との英語での議論や世界中の学生が集まるプロジェクトへの参加など日本では出来ない経験が出来たため、非常に価値のある授業だと思う。

卒業後の進路について

1) 進路 ※3 年生以下の方は今後の予定を記載してください。(下記 2 以降は記入不要)

就職 進学 未定 その他:

1) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関等

YouTube, CFN(ボスキヤリのサイト)

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません。就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

アバナード株式会社

留学以前より日本の IT 技術の活用が遅れているという問題意識があり、留学の経験から IT 先進国であるアメリカを基盤にする IT コンサルティングサービスを通じて日本企業の IT 化を支援したいと思ったから。

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。

(例: 留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。)

就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。

就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

出発前にできることは済ませておいたことで、留学中も落ちついて就職活動を行う事ができたと思います。証明写真やスーツの用意など忘れぬようにリストアップすることをお勧めします。ポستنキャリアフォーラムに参加する場合は、東京キャリアフォーラムへ参加し、BCF の予行演習をすることができるので参加を強く推奨します。留学先では、オンラインで面接を行いますので、PC のカメラやライトなどを外付けで用意するとよいかもしれません。

寮に滞在する人は、寮の wi-fi のレベルが不足しており、Web テストの技術要件を満たさないことがあります。それにより、TOEFL のテストを受験するようなテストセンターまでわざわざ行ってテストを受験する羽目になったこともありました。何度も行くことはできないので、応募を断念した企業もあります。しかしながら、いずれにせよ何社も受けることは現実的ではないので、テストの受検可否も含めて志望業界の中でもさらに絞り込む必要があります。

多くの人は、現地での面接もしくはディナーのインビテーションがあると思うので実際は留学開始から 9~10 月の期間がとても忙しくなります。授業と並行して行う事は決して簡単ではありませんが、不可能ではないので頑張ってください。ボスキヤリについての情報は不足しがちなので、いったことのある人に聞くことを強くお勧めします。

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先の確保、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等)

留学開始年の 前年	1月～3月	英語の勉強
	4月～7月	TOEFL 受験
	8月～9月	留学応募
	10月～12月	留学応募、学内選考
留学開始年	1月～3月	パスポート取得、奨学金申請/面接
	4月～7月	ワクチン接種、ビザ取得、オリエンテーション、履修登録
	8月～9月	出発、授業開始
	10月～12月	中間試験、BCF、サンクスギビング休暇、最終試験、冬休み
留学/帰国年	1月～3月	冬休み、授業開始、中間試験
	4月～7月	春休み、期末試験、帰国
	8月～9月	
	10月～12月	

留学体験記

※ この留学先を選んだ理由、留学生活全般について、また、これから留学を志す後輩学生へのアドバイス等、自由に記入してください。

CSULBを選んだ理由と実際どうだったか

私が、この留学先を選んだ理由は「日本人と外国人の共生」について学びたいと思ったからです。これから、日本は多くの外国人を受け入れざるを得ない状況だと思います。清濁併せ呑むという言葉が非常に適していると思いますが、外国人との共生という問題には、よい面と悪い面の双方があるだろうと私は考えています。すでに、ニュースにも取り上げられているような問題を皆さんご覧になられていると思います。それらを踏まえて、人種多様性がおそらく世界の中でもトップクラスであるといえるこのロサンゼルスという地域で異なる人種や文化的背景を持つ人々と暮らしてみたいと思い、この大学を選びました。また、LA 周辺には古くから多くの日本人が移住し、現地の人々と共生してきたという歴史があります。その中には、戦時下の悲しい歴史も含まれますが、それらを乗り越え日系人や日本人がアメリカで暮らしているというのもここに決めた理由の一つです。実際、CSULB には日系人コミュニティや日本人コミュニティがあり、多くの日本人や日本にルーツを持つ学生がいます。また、明治大学紫紺会のロサンゼルス支部もあり、先輩方との交流の中で日本人がアメリカで暮らすことについて生の声を聞くことができました。私は、経営学を学んでいるため、文化の違う人々とビジネスを行ううえでどのような問題があるのかという視点で物事を見ていましたが、ビジネスに限らず多くのことを学ぶことができる環境がCSULBやその周辺地域にはありました。

留学生活について

非常に充実していた日々だったと思います。1学期目はボストンキャリアフォーラムへ参加したため、面接、WEBテスト、ESといったものに時間を取られながら、留学先の勉強もしっかりとしつつ、他の学生との交流も楽しもうと欲張っていました。優先順位は就活、大学の勉強、遊びといった感じてしたが、それぞれ折り合いをつけながら暇な時間が全くないくらいに日々を過ごしました。毎日が刺激的ですべてが学びだという感覚でした。2学期目には、就活を終えることができたので、履修する授業のレベルを上げ、すべて専攻のビジネスの授業を取りました。課題と予習復習に追われる日々で早く解放されたいと思いつつも、その大変な中で友人と遊んだり、アメリカらしいことをしようと1学期目よりもさらにアクティブに動いていたため就活は終わったもののさらに忙しい学期でした。1週間の詳しい時間の使い方などは、近況報告書の方を参考にしてください。

サンクスギビング、春休みはそれぞれ1週間、冬休みはおよそ1カ月ほど休みでした。サンクスギビングの休みは BCF でボストンに行くことが決まっていたので、ボストンと帰り際に NY に立ち寄り観光してきました。冬には、シアトルとシカゴを巡ったり、ルームメイトの家でクリスマスを過ごしたりしました。春休みには、お金がなかったので近場のサンディエゴまで電車で日帰り旅行をしたりといろいろな都市をめぐる旅行ができ非常に楽しかったです。(ただし、お金はすごくかかります。留学出発前にバイトしてお金をためましょう)

後輩学生へのアドバイス

TOEFL や IELTS のスコアがある皆さんであれば、英語力の心配はいらないと思いますが、日本の大学よりも勉強に対するコミットメントを求められるので勉強は大変になると思います。その中で、就活を並行して行おうと考えている方は、非常に大変になるかと思いますが、留学をすると視野が広がるのでよい就活をできると思います。

おそらく、これから留学される方の心配事の一つに「円安」があると思います。私は、業務スーパーの奨学金と明治大学の奨学金で留学費用をほとんど工面できるという資金計画を立てていましたが、結果はおよそ100万円余分に必要になり、両親にいざというときに使いなさいと渡されたお金のすべてと、自身の高校時代からの貯金を使い切ってしまうました。さらに、両親から追加の支援を受けてやっと帰国しました。それでも、日本にいたら出来ないような経験と多くの人との出会いを通じて、新たなことをたくさん学ぶことができました。これは、お金の換算できるようなものではないですし、強いて換算するなら費用以上の価値があると私は考えています。

円安だからと言って留学をあきらめないでください。